

PCT

国際予備審査報告

(法第12条、法施行規則第56条) [PCT36条及びPCT規則70]

[PCI36条及OTCIA		
出願人又は代理人 の書類記号 ASAHI-37	今後の手続きについては、国際予備審査報 IPEA/41	程告の送付通知(様式PC1/ (6)を参照すること。
国際出願番号 PCT/JP03/07687	国際出願日 (日.月.年) 17.06.03	優先日 (日.月.年) 17.06.02
国際特許分類(IPC) Int.Cl ⁷	A61M 1/02, C08F220/1	0
出願人(氏名又は名称)	旭メディカル株式会社	·

	ルンノイルルリスニ
1.	国際予備審査機関が作成したこの国際予備審査報告を法施行規則第57条(PCT36条)の規定に従い送付する。
2.	この国際予備審査報告は、この表紙を含めて全部で5 ページからなる。
	区 この国際予備審査報告には、附属書類、つまり補正されて、この報告の基礎とされた及び/又はこの国際予備審査報告には、附属書類、つまり補正されて、この報告の基礎とされた及び/又はこの国際予備審査機関に対してした訂正を含む明細書、請求の範囲及び/又は図面も添付されている。
3.	この国際予備審査報告は、次の内容を含む。
	I X 国際予備審査報告の基礎
	□ 優先権
	Ⅲ 区 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成
	IV 第明の単一性の欠如
	V 区 PCT35条(2)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるたの文献及び説明
	VI X ある種の引用文献
	VII 国際出願の不備
	VII 国際出願に対する意見
1	

国際予備審査の請求書を受理した日 17.06.03	国際予備審査報告を作成した日 22.09.03
名称及びあて先 日本国特許庁(IPEA/JP) 郵便番号100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	特許庁審査官(権限のある職員) 4 J 3130 開 攻 立 日 内線 3455

国際予備審査報告	EMHALL
I. 国際予備審査報告の基礎	
1. この国際予備審査報告は下記の出願書類に基づいて作成され 応答するために提出された差し替え用紙は、この報告書によ PCT規則70.16,70.17)	ルた。 (法第6条 (PCT14条) の規定に基づく命令に Bいて「出願時」とし、本報告書には添付しない。
出願時の国際出願書類	
区 明細書 第1-37 ページ、明細書 明細書 第 ページ、ページ、リージ、リージ、リージ、リージ、リージ、リージ、リージ、リージ、リージ、リ	出願時に提出されたもの 国際予備審査の請求書と共に提出されたもの
X 請求の範囲 第 12,14,16-38,40 項、 項、 項、 項、 項、 項、 項、	出願時に提出されたもの PCT19条の規定に基づき補正されたもの 国際予備審査の請求書と共に提出されたもの _05.09.03 付の書簡と共に提出されたもの
X 図面 第 1-2 ページ/図、 図面 第 ページ/図、 図面 第 ページ/図、	国際予備審査の請求書と共に提出されたもの
明細書の配列表の部分 第ページ、明細書の配列表の部分 第ページ、明細書の配列表の部分 第ページ、明細書の配列表の部分 第ページ、	出顧時に提出されたもの 国際予備審査の請求書と共に提出されたもの
2. 上記の出願書類の言語は、下記に示す場合を除くほか、こ	の国際出願の言語である。
上記の書類は、下記の言語である 語であ	
 国際調査のために提出されたPCT規則23.1(b)にい □ PCT規則48.3(b)にいう国際公開の言語 □ 国際予備審査のために提出されたPCT規則55.2ま 	トう翻訳文の言語 たは55.3にいう翻訳文の言語
□ この国際出願に含まれる書面による配列表 □ この国際出願と共に提出された磁気ディスクによる □ 出願後に、この国際予備審査(または調査)機関に □ 出願後に、この国際予備審査(または調査)機関に □ 出願後に提出した書面による配列表が出願時におけ	配列表 提出された書面による配列表 提出された磁気ディスクによる配列表 る国際出願の開示の範囲を超える事項を含まない旨の陳述
があった。	よる配列表に記録した配列が同一である旨の陳述書の提出
	ージ/図
5. この国際予備審査報告は、補充欄に示したように、補 れるので、その補正がされなかったものとして作成し 記1. における判断の際に考慮しなければならず、本	/Co (1 0 1 //w//



	国院 了 佣 番	
ш.	f規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備 審	査報告の不作成
	 こ関して、当該請求の範囲に記載されている発明の新規性、進 をしない。	造歩性又は産業上の利用可能性につき、次の理由により
	国際出願全体	
X	請求の範囲 39,40	
理由:		·
X 5	の国際出願又は請求の範囲 39,40 の事項を内容としている(具体的に記載すること)。 手術又は治療による人体の処置方法に該当 て規則67.1(iv)の規定により、この国際予(要しない対象に係るものである。	t、国際予備審査をすることを要しない し、PCT第34条(4)(a)(i)及びPC 備審査機関が国際予備審査することを
		,
	3細書、請求の範囲若しくは図面(次に示す部分)又は請求の 3載が、不明確であるため、見解を示すことができない(具体	範囲の的に記載すること)。
	全部の請求の範囲又は請求の範囲 裏付けを欠くため、見解を示すことができない。	が、明細書による十分な
X	請求の範囲 39,40	について、国際調査報告が作成されていない。
2.	ヌクレオチド又はアミノ酸の配列表が実施細則の附属書C(^j ガイドライン)に定める基準を満たしていないので、有効な[塩基配列又はアミノ酸配列を含む明細書等の作成のための 国際予備審査をすることができない。
	□ 書面による配列表が提出されていない又は所定の基準を	
	□ 	



国際出願番号 PCT/JP03/07687

	生、進歩性又は産業上の利用可能性につい 及び説明	いての法第12条 	: (PCT35条(2))	に定める見解、 	それを裏付ける
1. 見解	X O 101-71				
新規性	(N)	請求の範囲 請求の範囲	1-6,	8-38	
進歩性	(IS)	請求の範囲 請求の範囲	1-6,	8-38	有 無
産業上	の利用可能性(IA)	請求の範囲 請求の範囲		8-38	有 無
	及び説明 (PCT規則70.7) 1: JP 56-168623 A (東洋コ	ンタクトレ	ンズ株式会社)	1981. 12. 24	1

文献 2: JP 6-184508 A (綜研化学株式会社) 1994.07.05

文献 3: JP 2001-316422 A (ポーラ化成工業株式会社) 2001.11.13

又献3: JP 2001-316422 A (ホーフ化成工条体式会社) 2001.11.1 文献4: JP 6-72759 A (ライオン株式会社) 1994.03.15 文献5: JP 7-25776 A (旭メディカル株式会社) 1995.01.27 文献6: JP 2000-245833 A (旭メディカル株式会社) 2000.09.12 文献7: JP 2001-300221 A (旭メディカル株式会社) 2001.10.30 文献8: JP 2000-185094 A (旭メディカル株式会社) 2000.07.04 文献9: JP 10-230014 A (旭メディカル株式会社) 1998.09.02 文献10: JP 1-256971 A (株式会社クラレ) 1989.10.13

請求の範囲1-6,8-38に係る発明は、国際調査報告で引用された上記いず れの文献にも記載されておらず、当業者にとって自明なものでもない。 したがって、請求の範囲1-6,8-38に係る発明は、新規性、進歩性を有す る。



国際出願番号 PCT/IP03/07687

国際予備審査報告	ī	国际山願留方 FC	T/JP03/07687
. ある種の引用文献			
. ある種の公表された文書 (PCT)	規則70.10)		
出願番号 特許番号	公知日 (日.月.年)	出願日 (日.月.年)	優先日(有効な優先権の主張 (日. 月. 年)
WO 03/033053 A1 「EX」	24. 04. 03	16. 10. 02	16. 10. 01
2. 書面による開示以外の開示 (PC		ロー・ロル ・サギに	こる開示以外の開示に言及してい
書面による開示以外の開示の種類	書面による開示以外の (日.月.年)	第示の日内 音曲に a	書面の日付(日.月.年)
			Em-> 11 (11 - 11 - 11
			Em. 217 (11. 12.